

2021年8月3日(火)

文責 森本和人

松本県ヶ丘高等学校東京同窓会 引継会報告書

2021年度東京同窓会 43期から44期への引継ぎ会議を下記の通り実施しました。

日時 2021年8月1日(日) 13:00~15:15

場所 take in studio (日本橋本町) (43回濱田和弘さんの店)

出席者 (43期) 濱田和弘 第54回東京同窓会実行委員長

敬称略 (44期) 深澤太郎 第55回東京同窓会実行委員長(予定)

袖山朋美、高橋知子(以上は第54回総会懇親会 ZOOM 参加)

松沢真介

戸田誠広報委員長(28期)

森本和人総会指導委員長(28期)

・濱田、松沢、戸田、森本は上記会場。深澤、袖山、高橋は ZOOM にて

会議内容(別紙あり(添付割愛))

1. 説明

1) 実行委員会に関わる情報(東京同窓会の歴史など)と今後に向けたお願い

・森本より、55回実行委員に向けて、東京同窓会の歴史、総会・懇親会の歴史、年間事業予定等を紹介。来年6月12日に向けた今後のロードマップを「実行委員会推進要領」にて説明。補足として、令和3年度予算案(委員会や予算構成を知ってもらうため)、および、財政関係では、東京の会員:おおよそ2600名。会費収入は、ここ数年年会費約36万円(180名)、終身会費36万円(18名)がおよその実績であることなど説明。また、当日用意ができなかった役員名簿を後日送付した。(~14:00)

2) 会報あがたについて

・戸田より会報あがた(次第44号)について説明。ページ建てや記事構成の変遷、今期第43号の制作スケジュールをもとにロードマップを説明した。次第44号についても、恒例の年明けといわず年内にもある程度の紙面について検討を始めておきたいことが報告された。(~14:40頃)

2. 質疑等

高橋: 実行委員として個々人の負担が相当大きいと思う。簡素化を図れるものについては、ぜひそれを実現して頂きたい。実行委員会扱いの備品の保管も大変である。

森本: 何ができるか検討したい。

深澤：若い人の参加はハードルが高いと感じる。実行委員の人数を集めることも苦労している。声かけをそれなりに行ってきたが、忙しい年代でもあり参集が進まず、本日も結局4人留まりとなった。誰のための同窓会なのか。若い人がなぜ入らなければならないのか。学生の支援という観点はないか？また、ビジネスという観点はないか？

森本：実行委員という年次を、同期の絆を改めて深めてもらう契機にして欲しいというねらいもある。同窓会の目的はまず親睦であるとされている。昨年のiPad寄付のように学校支援につながる活動も伴っている。ビジネスにつながる観点もあると思うが、あまりその面での話は聞かない。

袖山：松本（の同期会（愛のリレー））は寄付金集めに終始しており、それに苦労していると聞く。

全体として

- ・多くの情報を一挙に伝える一方で、**実行委員のメンバーは現在少ないなか、まずは引継ぎを行った。折々の合同幹事会を目標に連絡を取り合いながら進めたい。**
- ・秋に向けて、実行委員の員数拡大をお願いするとともに、濱田前実行委員長にも助けて頂きながら次に何をして頂かなくてはならないかを、早めにアナウンスし、その成果前例なども示して準備を進めていっていただくようにしたい。
- ・今年の第54回総会・懇親会の総括については、別途濱田前委員長ととりまとめる予定。

利用資料

- ・同窓会の歴史
- ・東京同窓会懇親会の歴史
- ・東京同窓会会場費暦年履歴
- ・令和3年度予算案
- ・令和3年度年間活動計画
- ・実行委員会推進要領
- ・会報あがた歴代実行委員会のページ
- ・会報第43号台割り&スケジュール
- ・会報第43号